学校番号	1204

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校日本史Ａ　新訂版」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、歴史の教訓をもとに国際社会で主体的に生きようとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活･文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 小テスト 授業観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一学期</td><td>近代への転換</td><td>・近代への胎動
・明治維新</td><td>○
○</td><td>○
○</td><td>○</td><td>○
○</td><td rowspan="2">a:幕末から明治に至る動きを、一連の流れとしてとらえようとしている。また、その後の明治維新から日清・日露戦争によって何が変わったのかを、理解しようとしている。
b:江戸時代から明治維新の一連の動きを、近世後半からの流れと関連づけて考察している。
明治政府による初期の諸政策の目的を、前時代との違いや問題点を含め、幅広い視点から考察している。
c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。
d:江戸時代後期の日本の状況を、世界情勢と関連づけて、正しく把握している。
明治政府の初期の諸政策について、その目的と問題点を理解している。</td><td rowspan="2">・授業観察
・発問評価
・小テスト
・ワークシート
・レポート
・定期考査</td></tr>
<tr><td>大日本帝国の形成・展開</td><td>・近代国家の確立
・国際関係の推移と近代産業の発展</td><td>○
○</td><td>○
○</td><td></td><td>○
○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">二学期</td><td>両大戦間の世界と日本</td><td>・第一次世界大戦と日本
・侵略戦争への序幕
・満州事変と「満州国」</td><td rowspan="2">○
○
○
○
○
○</td><td rowspan="2">○
○
○
○
○
○</td><td rowspan="2">○
○
○
○
○
○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">a:軍部の台頭と、日本の戦争への動きの関連性について理解しようとしている。
b:日本の戦争に至る経緯を、国内的な軍部の台頭による政治状況の変化、経済の動向、国際関係の変化に着目して、考察している。
c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。
d:第一次世界大戦が日本に与えた影響について正しく理解している。また、日本の対外政策の内容について、対アジア諸国、対欧米諸国という視点から理解している。</td><td rowspan="2">・授業観察
・発問評価
・小テスト
・ワークシート
・レポート
・定期考査</td></tr>
<tr><td>十五年戦争と日本・アジア</td><td>・日中戦争
・第二次世界大戦と日本
・アジア太平洋戦争</td></tr>
</table>

三学期	戦後改革と高度経済成長	・日本の再出発 ・独立後の政治と経済の発展	○ ○	○ ○		○ ○	a:敗戦によって日本が連合国の占領を受けたことの事実を理解し、占領の内容についても意欲的に理解を深める態度を身につけている。また、主権回復後の日本の動きについて、意欲的に理解を深めようとしている。 b:主権回復後、日本が締結した条約や制定した法律の内容について、背景もあわせて理解している。また、それに関連しておこった国内の動きから、そこに含まれる問題点を考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し、活用している。 d:戦後の諸改革によって、それまでと何がどのように変わったのかということを、正確に把握している。また、主権回復後におこった国内の動きについて、その内容と政治的背景を、正しく把握している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・ワークシート ・レポート ・定期考査
	現代の世界と日本	・現代の日本と世界 ・石油危機後の動向	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料の活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。